



川西中学校卒業生の祝福を受けるつださん。(10月17日、選挙事務所)

川西市議会選挙、つだ加代子さんが当選

10月17日(日)川西市議会選挙で、兵教組・連合兵庫推薦の「つだ加代子」さんが、2,741票を得て、現職23人、新人12人の計35人が立候補する

7票を得て2期目の当選を果たした。定数が4減の26人に対して、現職23人、新人12人の計35人が立候補する。厳しい選挙戦だった。投票率は55.50%、市長選とあわせて、中央北地区整備事業や赤字の市立川西病院の問題、少子高齢化対策などが争点の選挙だった。

つださんは1期目の4年間、文教公企常任委員会委員、飛行場対策周辺整備調査特別委員会副委員長、人権施策審議会委員などに携わってきた。また、隔月で定例会議を開き、川西の街を歩き、会報誌を出してきた。2期目の挑戦を「夢ある子育て」「豊かな子育て」「だれもが住みよい」そして「生きがい創る川西」の4つの願いを大切に、「元気になるまち川西」を掲げて訴えてきた。

当選後つださんは、「『議会の体質を変えたい』。議員は地域に出なければならぬ。市民の力は絶対に必要だ。また、『子どもの居場所を創りたい』。川西市には、子どもの居場所がない。地元が率先してモデルになる」と2期目の抱負を力強く語った。

また、「みなさんの支えがあることで、1期目の4年間をがんばることができた。そして、みなさんのおかげで2期目の4年間をがんばることができ、これからは元気に暮らしていきたいと思います」とあいさつした。



今年度の対岸確定闘争の課題についてを語る川原書記長。(10月24日、ラッセホールにて)

「労働」を伝えるため、「労働」を学ぶ 第37期青年部労働学校開催

10月24日(日)、第37期青年部労働学校がラッセホールで開催され、約60名が参加した。

問題提起として、川原芳和書記長より「2010対岸確定闘争の課題」についてが語られた。また、問題提起IIとして、「青年教職員の職場・生活実態について」2010青年部生活職場実態調査のとりくみからと題し、2010年9月に青年部組合員対象の生活・職場実態アンケート結果について報告された。集約数は2,986人、集約したデータは、学校現場の厳しい現状や教職員がいきいきと働ける職場づくりを目指した声を届ける大切なものだ。

兵教組青年部ではこのアンケート結果をもとに、生活改善や職場環境の整備に向け、来年度につながるようとりくんでいく。(裏面に井上拓路青年部長より報告あり)

『ひょうご 2010 こどもの詩と絵』第31集 募集 子どもたちの感動が、詩や絵に表れたものをたくさん応募してください!



09こどもの詩と絵 第31集表彰式・発刊記念集会には、県内各地より子どもたち、保護者、指導者など約500人が参加した。選考された詩と絵の中から17人が代表して、壇上で山名執行委員長より表彰状を受け取った。(3月7日、ラッセホール)

2009年度は、新エンザが全国的に流行する中、「こどもの詩と絵」には、県内各地から、明るく、元気が伝わる作品が寄せられた。これらは、先生たちの継続的な指導と心を育てる家庭の存在を基盤に、それぞれの地域の風物や学校生活の日々のくらしなどを、子どもたちの豊かな感性でとらえられたものだった。

応募にあたっての注意点は、①応募された作品の著作権は、「こどもの詩と絵」編集発行者に帰属するものとする。②応募された作品は、絵の



「枝まめ取りしたよ」小野市東条小学校三年 遠藤 優介

「こどもの詩と絵」事務局 (050) 3538-2346まで。

★詩・絵ともに、同一テーマの場合は、学級で選考の上、10点以内にしほって応募する。

★応募が数点以上ある場合は、応募者の一覧表を添付する。

★応募作品は各支部へ、11月30日(火)締め切り

問い合わせ先

本年度も、身のまわりや社会のできごとを、子どもたちが自身の眼でとらえ、豊かな感性によって表現する創造的な詩や絵が多数応募されるよう、ご理解とご協力をお願いする。

選考委員会へ入選した作品は、「ひょうご2010こどもの詩と絵」第31集としてまとめる予定。たくさん応募を期待する。

応募にあたっての注意点は、①応募された作品の著作権は、「こどもの詩と絵」編集発行者に帰属するものとする。②応募された作品は、絵の

《詩》必ず原稿用紙を使用。支部名・市町名を欄外に、作品の題、学校名、名前を本文中に、指導者名を原稿末尾に記入する。(※名前・指導者名にはふりがなをつけること)

《絵》黒インク、サインペン等ではつぎりと描いたカット画やクロッキー、絵画、デザイン、版画等。(彩色した作品も可。ただし、立体的な作品は写真撮り後冊子にすることが難しいため避ける)裏面右下に「応募用紙」(応募要項から切り取る)を張り付け、支部名・市町名、学校名、学年、応募者名、指導者名、題を列記する。大きさは、ハガキ大から四つ切画用紙大まで。

★学校外には未発表の作品、ひとり1点。

★前年度3学期以降の作品も応募可。その場合は、作品制作時の学年で記入し、今年度の学年も書き添える。

9周年鍋フェスタ

全9種類の鍋が勢ぞろい

ラッセホール自慢の

2011年3月31日(木)まで

11:00~14:00、17:00~21:00

年末・年始(12/29~1/3)のご利用は事前にご確認ください

写真はイメージです

いずれかよりお選びいただけます

- 豚しゃぶ・牛しゃぶ・ぶりしゃぶ・てっちり・かにすき
- すき焼・寄せ鍋・ちゃんこ鍋(みそ味)・ラッセ鍋

※ぶりしゃぶ・かにすき・てっちり・ラッセ鍋は前日17:00までのご予約にて承ります。ラッセ鍋とは、牛・豚・鶏肉を使った水炊きです。ゆずしょう風味のピリ辛ダレにてお召し上がりいただけます。

今、話題の 淡路島本牧場の いのぶた使用 (ゴールデン・ポアホーク)

きめが細かくコクのある『淡路いのぶた』は「黒豚」と「猪」から生まれたシシ肉特有の旨味をもつ新しいお肉です。

豚しゃぶ・寄せ鍋・ちゃんこ鍋に使用

無料で個室をご利用いただけます 5名様より先着順

(ご利用は2名様より2時間制)

鍋(単体)当日お1人様 ¥5,000 ▶前売券 ¥3,980

チケットご使用の方

【フリードリンク】 通常価格 ¥1,500 ▶ ¥1,020

【フリードリンクメニュー(セルフ方式)】

- ◆生ビール ◆焼酎 ◆ウィスキー
- ◆ワイン(赤・白) ◆ハイボール
- ◆各種チューハイ ◆各種ソフトドリンク

※但し個室・宴会場をご利用の場合は、生ビールは瓶ビールとなります。チューハイ・ワインは取り扱いできません。

鍋・フリードリンク付プラン 当日お1人様 ¥6,500 ▶前売券 ¥5,000

ご予約・お問い合わせは レストラン リビエラ / TEL.078-291-1311

※表示価格には消費税・サービス料が含まれております。

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
TEL.078-291-1117 (代表)
FAX.078-291-0333
http://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com

Lasse Hall CITY HOTEL



各地区で集まり、アンケートの結果について語り合う参加者たち。(10月24日、ラッセホールで)

私たちがどこまでできるひょうごは、知ったことを伝えるひょうご

第37期青年部労働学校



井上拓路青年部長

青年部労働学校は、私たち青年教職員にとって、「労働」について考える貴重な時間となった。

世の中をみると「労働者」の多くが痛めつけられている。このような時代だからこそ、私たちがじっくりと「労働」を考えることが必要だ。また、教職子の多くは労働者となって社会に出ていく。そうであれば、子どもたちに「労働」について詳しく教えていくことが

必要であり、私たち自身も「労働」を学んでいかなければならない。

青年部労働学校は、今年で37期目をむかえる。先輩方が長年に渡り、労働についての議論をこの労働学校で積み重ねてきた。私たちが青年教職員も労働を語り、働き方を語り、それを先輩たちに引き継がなければならぬのではないかと。今年度の労働学校では、まず、「2010対県確定闘争の課題」と題して、川原書記長から話を聞いた。私たちの賃金や労働条件がどのようにして決まっているのか、人事委員会制度とはどのようなものなのか、また、対県確定闘争の課題についてなども詳しく教えて頂いた。さらに、過去の給料表と現在のものを比べることで、先輩方と比べて

の成果が私たちの今の賃金に還っていることが分かった。各支部・分会でも、私たち青年教職員が職場実態について語り、それを改善するために明日からどんな行動をしていくべきかと語る時間が必要なのだと思

う。多忙により家庭や自分の時間を犠牲にしている青年教職員の姿があった。そして、この職を辞めたいと考えている青年教職員が多くなることにショックを受けた。私たちの先にあるものは、孤立である。助け合うこと、支え合うこと、受け入れることができない。この実態を解決する為にも、「勤務時間の適正化」を主体的にすすめていく必要性を強く感じた。

この後、各地区で集まり、意見交換やアンケートの結果について語り合った。多忙の結果として、語る時間がなくなってしまうという。このことをバイト先に電話

「労働」について「反貧困学習」格差の連鎖を断つために(大阪府立西成高等学校著・解放出版社2009年7月10日)には、高校の授業における「労働」についての実践が取り上げられている。

他にも、フリーターの労働組合をつくって闘った勝間田翔さんの事例や「退職の申し出」「有給休暇」「労働三権」についても取り上げてあり、労働について困った時の相談窓口も紹介してある。

先ほどの事例は勝ち取った例だが、「労働」について学習していなければ「解雇」されてどこに相談したらいいのかわからない。子どもたちに「労働」について教える必要があるのではないか、私たちが「労働」について深く考えたことはなかった。これまでの先輩方と比べて、先輩方のおかげで今があること、それを維持、改善していくために、これからとていくことを考えさせられた。(神戸支部)

同じ青年部組合員が同じような悩みを抱えていることが分かった。ワーク・ライフ・バランスをしっかりと考えて働かなければならない。(神戸支部)

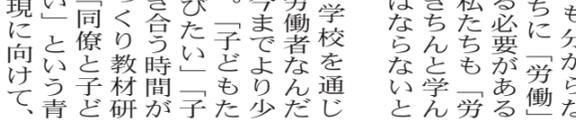
考える。(多西支部) 来年度のアンケート結果で少しでも多忙と感じる人が減るよう、今できることをとりにくんでいきたいと思う。(三田支部) 国の意向通り働けば労働者に負担がふりかかる。そうならば、それが何らかの形で児童・生徒に影響が出るのではないかと。このことを守るためにも、未来を担う子どもたちのためにも、組合活動の大切さを再度知ることができた。(豊岡支部)

給与が社会情勢に反映されるのは仕方がないと思うが、納得できない部分も多々ある。減額された分は、民間の平均よりも下回っていることを社会に伝えられないだろうか。(水上市支部) みんな大なり小なり悩みがあると聞いた。自分自身の悩みと照らし合わせながら聞いていた。悩みを聞いてもらって少しホッとした。(尼崎支部) 青年部組合員が、組合のこと、実践のこと、その他のことを「知る」ことが大切だと思う。そして、私たちにできることは、知ったことを支部で「伝える」ことだと思う。(津名支部)

「いま、あなたの仕事上の悩みはどんなことですか?」の問いに対し、一番の悩みは時間外勤務の多さであり、多忙で悩む青年層が多いことがうかがえる。(2010兵庫組青年部、生活・職場実態アンケート結果より)



「管理職から記録簿に記入した超勤の割り振りはされていますか?」



「参加者の感想」 問題は多種多様で、それぞれに困っていることがあるのだということが改めて気がついた。共感できる部分もたくさんあり、特に部活動・超勤についてはもっと声をあげていかなければならないと思った。(六栗支部) 多くの教職員が組合活動を理解し、協力していくことが必要だと感じた。(明石支部) これまで給与のことについて深く考えたことはなかった。これまでの先輩方と比べて、先輩方のおかげで今があること、それを維持、改善していくために、これからとていくことを考えさせられた。(神戸支部)

同じ青年部組合員が同じような悩みを抱えていることが分かった。ワーク・ライフ・バランスをしっかりと考えて働かなければならない。(神戸支部)

Advertisement for the Teachers' Mutual Pension Plan (教職員共済生協の年金共済). It details the plan's benefits, including a bonus and flexible accumulation, and provides a table of accumulated amounts over time. The plan allows for monthly contributions of 5,000 to 10,000 yen, with a 10-year guaranteed annuity option of 48,850 yen per month. The total accumulated amount after 33 years is 622.9 million yen, which can be used to purchase a 10-year annuity of 658.6 million yen.